

BX 文化シャッター

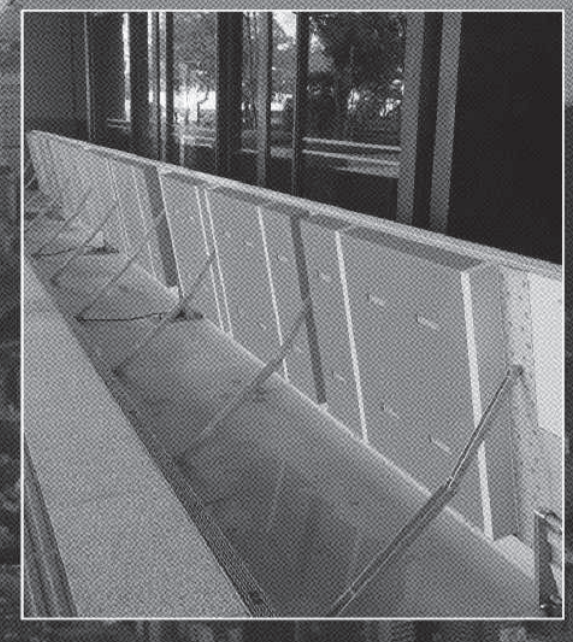
# 守る技術

増加する集中豪雨による水害に備える！  
建物への浸水対策は当社にお任せください！

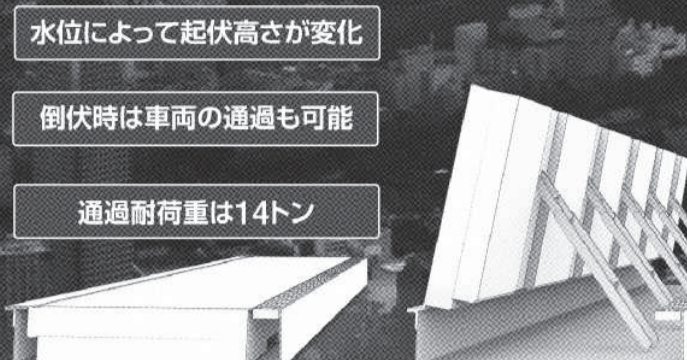
**防災産業展2024出展**  
2024.2/20(火) - 2/22(木)  
東京ビッグサイト西2ホール 小間番号 B-08

**LIVE**  
当社YouTube公式chにて  
展示会をライブ配信!!

アクアフロートの止水性能実演やラクセット ハイタイプ の設置実演を配信!



電源不要！無人で水の浮力により  
自動で起伏し浸水を防ぐ。



浮力起伏式止水板  
**アクアフロート**

止水高さ2mまで



軽量コンパクト設計で  
フレキシブルな浸水対策。

- 簡単かつスピード設置
- 中柱の設置により広い間口に対応
- パネル最大重量は14kg/m<sup>2</sup>と軽い持ち運び

BX止水板  
**ラクセット ハイタイプ**

止水高さ1.5mまで

文化シャッター株式会社 〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3 ☎0570-666-670

## スマートファクトリーJapan 防災産業展 グリーンインフラ産業展 国際宇宙産業展

**スマートファクトリーJapan**

現場の人手不足や蓄積されたデータの解析・提案・情報提供が同展の最適化を図る。21日は13時から「製造現場におけるスマート化を進める」と題したセミナーを開催する。Smart Tec、hologiesの2社が、製造業におけるデジタル変革(DX)の推進をテーマに、木村哲也社長が「中小設計・製造プロセスの最適化」をテーマに、消費の見え方化で「65%の課題を解決する」と題したセミナーを開催する。

**防災産業展**

日刊工業新聞社は「防災・減災による備え」をテーマに、日本防災産業協会と共催で開催する「防災 現」は、今年30年を迎える防災産業展の前身は、2013年2月に開催された「東北 防災・減災」が前身。東日本大震災発生から2年たち、企業活動において防災・減災は最重要課題の一つであるという社会的認識の高まりから、防災の爪痕が残る仙台で「災害時のトイレを考へる」と題して日本トイレット紙工業会(BICP)と共同開催する。令和6年能登半島地震でも問題になった被災状況下でのトイレ運用や問題点について発表する。

**グリーンインフラ産業展**

持続可能な環境を未だの直射熱を分散させ、車内の温度上昇を抑える効果を得る。自然・環境を和らげる効果を得る。技術・グリーンインフラが目集まる。企業の社会的責任として、グリーンインフラ技術を取り入れる事業者も増える。日刊工業新聞社主催、グリーンインフラ官民連携技術交流会を開催する。2月20日に第1回を開催し、今年2回目の開催を迎える。

**国際宇宙産業展**

近年、宇宙開発事業が各国で国家戦略として力を入れている。その中でも、宇宙開発に特化した専門展「国際宇宙産業展」が開かれ、宇宙産業の発展を促す。主催は日刊工業新聞社。同展では最新の技術動向などを紹介し、宇宙産業の発展を促す。主催は日刊工業新聞社。

**きょう開幕 東京ビッグサイト**

「スマートファクトリー」を形作る新技術・新産業にフォーカスした「防災産業展2024」専門展だ。会期3日間「グリーンインフラ」で2万人以上の来場を予定している。見込んでいる。

「2024国際宇宙産業展」が、リアル展とオンライン展のハイブリッド開催で幕を開ける。4展示会合同開催で、登録は無料になる。4展示会合同開催で、登録は無料になる。4展示会合同開催で、登録は無料になる。

以下も無料で入場できる。は29日まで。リアル展を訪れる前の会場リサーチや、リアル展開催後の情報収集、集りきれなかったブースへの訪問などで活用できる。前述の合同サイトでの登録が必要で、入場は無料だ。

コロナ禍の入場制限下で開催した防災産業展2023

# 大切な命を守り 明るい未来を創造する

**DIK-G300 マルチ土壌水分センサ**  
**DIK-D300 コーン型土壌水分センサ**  
**DIK-L900 IoTデータロガー**

- ▶日本初(当社調べ)高含水率土壌計測に最適な土壌に合わせた測定周波数が選択可能
- ▶傾斜測定分解能0.01度のセンサを内蔵 ▶2種類の電極タイプ(針型、コーン型)に対応
- ▶温度・EC(電気伝導度)も同時に計測可能 ▶専用IoTロガーにより遠隔監視が可能

**用途**

- 土砂災害危険地域での土壌水分・傾斜変化監視
- ため池盛土や堤防の浸潤状態監視 ●海岸付近の塩害の監視

土と水の環境測定機器メーカー  
**大起理化工業株式会社** [www.daiki.co.jp](http://www.daiki.co.jp)  
〒365-0001 埼玉県鴻巣市赤城台212-8 TEL 048-568-2500/FAX 048-568-2505

いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。

# 1.5℃の約束

日刊工業新聞社は「SDGメディア・コンパクト」加盟メディアとして、気候アクションを推進する国連のACT NOWキャンペーンを支援しています。

日刊工業新聞社 ACT NOW

**スマホで作業手順書作成** **サクッと手順書**

スマホで撮影した写真・動画と手順コメントを紐づける手順書アプリ  
手順書は Windows Server に共有保管

ライセンス料  
1台目 20万円  
2台目から 10万円  
年間使用料 3万6000円/台

スマートファクトリーJapan2024  
西ホール 小間番号:F-34

<https://www.smart-go.net/tejun/>

スマホアプリで動作が快適 Android専用

(株)インプローブ 〒142-0053 東京都品川区中延5丁目4-13  
TEL: 03-6873-7235 FAX: 03-5413-7410

サクッと手順書 インプローブ 検索

**有力企業の製品・技術**

**防災産業展**

**文化シャッター**

文化シャッターは多発する集中豪雨による建物内部への浸水被害を最小限に抑える止水マスターシリーズ「ラクセット ハイタイプ」「アクアフロート」を出品する。「ラクセット ハイタイプ」は昨年12月に発売した浸水高さ1.5mまで対応する止水板。会場では設置体験を実施する。「アクアフロート」は水の浮力で止水板が自動起伏・倒伏するため、電源不要で人の操作を要さない。水を使った実演で、製品の止水性能を披露する。さらに、ブースの様子を動画投稿サイト「ユーチューブ」同社公式チャンネルでライブ配信する。ブースでの実演配信のほか、視聴者からの質問、要望にもライブチャットで対応する。

**大起理化工業**

大起理化工業は土壌水分・硬度計を手がける。「土と水を守る」という経営理念のもと、世界に先駆けたオンライン製品を数多く開発し、市場投入する。このほど東京都立産業技術研究センターと共同で、測定周波数を選択(可変)して土壌中の水分量を高精度に計測できる「DIK-G300マルチ土壌水分センサ」を開発した。体積含水率40-100%の土壌を、±5%の精度で測定できるのが特徴。土壌状況を可視化し、土砂災害危険地域での含水率の常時監視が可能になる。0.01度の傾斜測定分解能を持つセンサを内蔵し、土壌の傾斜変化なども監視できる。さらに機械の機種や治具の管理も可能。2次元コード「QRコード」で作業指示書とも連動する。同社は工場向けの生産管理システムが主力。このほか工程管理や作業実績の収集など、生産の効率化を図るソフトウェアやスマホ用アプリをそろえる。

**スマートファクトリーJapan**

**インプローブ**

インプローブは新製品の工場向けスマートフォン用アプリケーション「サクッと手順書」を紹介する。画像や動画による作業手順書をスマホで簡単に作成・検索が可能な。基本ソフト(OS)「アンドロイド」を搭載したスマホで利用でき、機体に直接インストールするため接